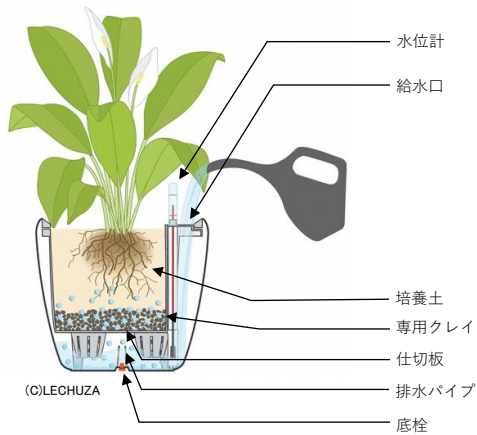
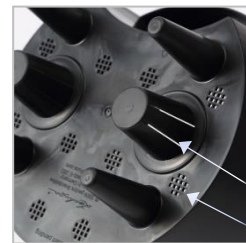


レチューザに植えた観葉植物

■レチューザの構造



写真①
レチューザは、水をためる外側の鉢(左)と、植物を植える内側の鉢(右)に分かれています。



写真②
内側の鉢の底面(仕切板)には、水を吸収するためのスリットと、空気を取り込むための細かい穴があいています。

吸水用スリット
空気穴

■置き場所

・年間を通して直射日光の当たらない、明るい室内に置いてください。レースカーテン越しの日差し程度の明るさが目安です。夏場の直射日光にあてると葉焼けをする可能性があります。

※下記の植物は日光を好みますので、日当たりのよい窓辺に置いてください。

・オリーブ ・トネリコ ・エバーフレッシュ

※下記の植物は屋外での栽培が可能です。

・オリーブ ・トネリコ

※屋外に置く際は、排水のために底栓を回して外してください。コインなどを使用して簡単に外すことができます。底栓がついたままだと、雨水が鉢内にたまり根腐れをする可能性があります。また、冬期にご購入いただいた場合、屋外に置きますと環境の変化のために植物が弱る可能性があります。暖くなる時期を待って屋外に出してください。秋からの気温の低下に徐々に慣らしていくことで、屋外でも冬越しできるようになります。

■はじめに

届いたらすぐに、水位計の動作に不具合がないかご確認をお願いいたします。

水位計は取り外し式のパーツになっています。パーツ内の赤い棒の一番下に浮きがついており(写真③)、水量によって浮き沈みして、水位を表示する仕組みです。

写真④のように器に水をはり、水位計パーツの先端を水中に沈めることで動きを確認できます。

※水位計が動かないときは

・水位計の赤い棒もしくは浮きが内側で引っかかっている場合があります。水位計パーツを軽くたたくことで直ります。軽くたたいても改善しない場合は、パーツ上部のキャップ(写真⑤左端)を外して、赤い棒を引っ張って引っかかりを直してください。



写真③



写真④
水位計パーツを水に浸すと、水位を示す赤い棒が上下します。



写真⑤
水位計のパーツは、お手入れの際に簡単に分解することができます。



写真⑥
給水口部分。

■水遣りに関して

①最初の一ヶ月

植え替えをして間もない状態でお届けするため、お届け後の約一ヶ月はまだ植物の根がしっかり張っていません。この時期は給水口から給水しても底面から水を吸い上げる力がないので、土の表面から水を与えてください。

・少しづつゆっくりと水を与えてください。土に吸収されない水分は底面にたまり、水位計が動きます。**「minimum」のラインを超えないようにご注意ください。**

・その後も、土の表面が乾き始めたら約1週間の期間において、土の表面から水を与えてください。

※「minimum」のラインを大幅に超えてしまった場合は、内側の鉢を引き上げて外側の鉢に溜まっている水を捨ててください。

②一ヶ月を経過したら

給水口から給水します(写真⑥)。水位計を確認しながらゆっくりと給水をしてください。「max」のラインを超えないようにご注意ください。「max」のラインを超えようと、仕切り板が水に浸かってしまい、水分過多となり根腐れする可能性があります。水位計が「minimum」のとき、「max」になるまでの水の量の目安は下記のとおりです。

〈ラウンドタイプ〉

・ミディアムサイズ……0.8L

・フロアサイズL……2.0L

・フロアサイズLL……3.7L

③水が無くなったらドライ期間を設けてください

ドライ期間とは、土を乾燥させることで土内に酸素を取り込み、根が呼吸するために必要な期間です。また、植物が水分を求めて根を伸ばすため、しっかりと根付いていきます。そのため、水位計の目盛が「minimum」になっても、すぐに給水せず約1週間の期間をおいてください。

■内側の鉢を引き上げられます



ラウンドタイプ

※急に引き上げると白い枠部分がはずれる可能性があります。静かに引き上げてください。

株式会社良品計画
お客様相談室 0120-14-6404